

平成30年度 第2回読書活動支援者育成事業地区別研修会 実施報告書
(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成30年10月25日(木) 時間: 10時00分~14時40分
2 会場	御蔵入交流館 多目的ホール
3 出席者数	総出席者数 計 43名 (男性11名 女性32名)
(内訳) 県立博物館職員(2名)、読書・読み聞かせ・図書ボランティア(23名)、小学校教員(2名)、学校司書(2名)、家庭教育支援南会津の会(1名)、南会津町図書館職員(1名)、主婦(1名)、南会津町教育委員会(2名)、下郷町教育委員会(1名)、只見町教育委員会(2名)、南会津教育事務所(6名)	
4 研修会概要	<p>○ 開会式(10:00~10:10)</p> <p>(1) 開会のことば (2) 主催者あいさつ (3) 日程説明・諸連絡</p> <p>○ 研修(10:10~11:10)</p> <p>講演 (1) 講師紹介 (2) 講演 「博物館でも読み聞かせ」 福島県立博物館 主任学芸員 荒木 隆 氏 (3) 質疑応答 (4) 御礼のことば</p> <p>○ 休憩(11:10~11:20)</p> <p>○ 情報交換・意見交流(11:20~11:50)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「次年度に向けた本研修会の要望等」 ・ 「普段の活動に対する悩み・実践内容の紹介等」 <p>○ 昼食(11:50~13:00)</p> <p>○ 実践発表(13:00~14:30)</p> <p>(1) 実践発表 「只見町立只見小学校の実践について」 只見町立只見小学校 教頭 国分 洋克 氏 「南会津町図書館の実践について」 南会津町図書館 活用推進員 高村 恵子 氏</p> <p>(2) 質疑応答 (3) 御礼のことば</p>
<p>【内容】</p> <p>1 博物館でも読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業実施時における問題意識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育行政としての課題 ・ 博物館としての課題 ○ 博物館としての読書推進の取組 ○ 社会教育施設としての博物館における「読み聞かせ」の可能性 <p>2 読書ボランティア研修会の講義をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 滑舌トレーニング ○ お話の世界をイメージして読む <p>3 講談スーパー古事記実演</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 演目「国の始まり」 	



【内容】

<只見町立只見小学校 教頭 国分 洋克氏より>

「只見町立只見中学校の実践について」

- 1 只見小学校の概要
- 2 読書推進実践紹介
 - 図書予算 ○ 人材 ○ 目標読書冊数の設定
 - 読書タイムの設定 ○ 移動図書館「あづま号」の利用
 - 学校司書によりブックトーク ○ おすすめの本紹介
 - 本の読み聞かせ ○ 家読 ○ アンケート結果
 - 家読講演会の開催
- 3 今後について



<南会津町図書館 活用推進員 高村 恵子氏より>

「南会津町図書館の実践について」

- 1 南会津図書館について
 - 沿革
 - 図書館の概要について
- 2 図書館の事業
 - 乳幼児サービス
 - 幼児サービス
 - 読書活動推進について
 - 図書の選書について
 - 苦労していること・課題
- 3 読み聞かせ実演（紙芝居）
演目「したきりスズメ」
- 4 図書館見学
 - 館内自由見学
 - 質疑等



○ 閉会式（14：30～14：40）

- (1) 諸連絡
- (2) 閉会

5 感想

【講演 荒木 隆氏】

- 博物館で読み聞かせを行っていることを初めて知りました。
- 図書館や学校だけでなく、様々な場所で様々な立場の人が読み聞かせを実施してくれることによって、子どもたちが本にふれる機会が多くなることは素晴らしいことだと感じました。特に、古事記は博物館で読むことに意味があり、特別感があり良いと感じました。
- 読み方に感情を入れる、入れない等、難しい問題だと思いました。一人ひとり違う解釈が読み聞かせを深めて広がっていくと感じました。
- 博物館に行ってみたいと思いました。
- 読み聞かせや読書活動への導入部というところでは参考になった。
- 講演が大変面白く興味深かった。
- 声や表情の出し方など大変参考になりました。
- とても楽しく、ワクワクする講演でした。
- 感情を込めた読み方をするので、子どもの目の輝きが違うように見えました。

【情報交換・意見交流】

- 選書については、多くのボランティアの方々が悩んでいるのだと知りました。
- 子どもに読書を継続させていくには、色々な工夫があることを学びました。
- 情報交換や意見交流する時間をもっと取って欲しい。楽しかったです。
- 実際に同地域で活動されている方々の話は参考になります。
- それぞれの現状がわかり、読書活動のあり方について参考になった。
- ボランティア同士での話し合いの場がなかなかとれないので、こういった機会はうれしいです。
- 他のボランティアグループの実践や工夫を聞くことができ、参考になりました。
- 選書に悩むことが多くあったが、情報交換したことで気持ちにゆとりができました。
- 絵本を読み始める時の、テクニック等を知ることが出来ると参考になる。
- 読書ボランティアの人員確保に苦労している。

【実践発表 国分 洋克 氏・高村 恵子 氏】

- 図書費が充実していて良いと思いました。
- 地道な日々の努力が積み重なって効果が出ることを知りました。
- 「家読」の取組がいいなと思いました。方法等真似してやってみたいです。
- 「貯金カード」、読む気になるカードだなと思いました。
- 「いいな」と思ったところ、取り入れられそうな所から少しずつ取り入れていきたいと思いました。
- 勉強になりました。本町にも図書館が欲しいです。
- 児童の読書への興味を引き出す為の努力が、学校内で一貫して行われていることに感激した。更には、「家読」という取組は素晴らしいと思う。
- 図書委員の児童による本の紹介は、子どもたちの興味を引くのにとっても役立つと思う。全ての学校でこのような取組が出来る日が来ることを願っております。
- 親子・祖父母達との「家読」いいですね。
- 子育てが終了した今、もう一度自分のために読書週間を持ち、子どもばかりではなく、介護の中でも参考になるのではと思います。
- 「家読」は父母（普段本を読む時間をなかなか取れない）にとっても大変良いと思う。

【御意見・御要望】

- 選書についての研修をしていただけたらうれしいです。
- 午後からは、放課後子ども教室があるので、午前での参加となった。全日程で参加できるような日程等の調整をお願いしたい。
- 研修の企画は大変ですが、引き続きお願いします。
- 読書活動のこれからについて教えていただいたような気がします。ありがとうございます。
- 大変良い研修をありがとうございました。
- 本好きだった自分のことも思い出して良かったです。
- 各団体としての取組はもちろんですが、行政との連携が必要だと毎回考えさせられます。
- 様々な取組にふれて、よい刺激になりました。
- 色々な情報を吸収できたことが、うれしかったです。自分の生活に役立てていきたいと思います。
- 講演会は大変役立っていくと思うので、今後も研修会に参加させていただきたい。
- 荒木主任学芸員の講演が、とても良かったです。
- 南会津図書館は、本がたくさんでとても閲覧しやすくなっており、感動しました。
- 県立図書館に見学に行ってみたい。
- 学校司書と連携して、学校図書にある本等を活用していきたい。
- 読み聞かせの楽しみをどのように広げていくか、参考になりました。
- 今までで一番参考になりました。
- 参加するとやっぱりいいことがありますね。
- 参加して良かった。色々な情報をもらえて参考になりました。
- 学校で行っている読み聞かせの後、必ず子どもに感想を言わせなくてもよいと思う。発表しなければならぬ緊張感により、心地よい気持ちで終えることが出来なくなってしまう。

6 成果・課題

【アンケート結果】

◇講演について

大いに参考になった 17名 ある程度参考になった 6名 参考にならなかった 0名

◇情報交換について

大いに参考になった 16名 ある程度参考になった 5名 参考にならなかった 0名

◇実践発表について

大いに参考になった 15名 ある程度参考になった 6名 参考にならなかった 0名

【成果】

- 1回目の研修会を行った際の、情報交換や御意見を踏まえ、そのニーズに応えられるような企画を心がけた。アンケート結果にも出ているように「大いに参考になった」「ある程度参考になった」が合わせて100%となり、参加者にとっても有意義な研修会になったと思われる。
- 「平成30年度子供の読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受賞した只見町立只見小学校と、南会津町図書館の取組について実践発表をしていただいた。先進的な取組について具体的に実践発表していただき、読書活動を推進する者にとって、大変参考となった。

【課題】

- 町村によっては、放課後子ども教室との絡みもあり、午後からの研修会に参加が出来ないという実態が浮かび上がった。研修者が全日程で参加できるように、町村教育委員会等と連絡調整を図ってきたい。

